

平成 27 年 10 月 9 日
山口合同ガス株式会社

下関市山陰終末処理場消化ガス発電事業の 基本協定締結について

山口合同ガス株式会社（社長：河野孝正）は、株式会社神鋼環境ソリューション、ヤンマーエネルギーシステム株式会社と共同で、下関市と「下関市上下水道局山陰終末処理場消化ガス発電事業」に関する基本協定を平成 27 年 10 月 9 日に締結しました。

弊社を代表企業とする企業グループは、山陰終末処理場内に発電設備を建設し、処理場で発生する消化ガスを買取り、「再生可能エネルギー固定価格買取制度（以下、FIT 制度）」の適用を受けた消化ガス発電事業を行う事で下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスの有効利用を促進し、地球温暖化防止に貢献します。また、地元企業が代表企業となる事で事業収益の地元循環に貢献し、再生可能エネルギーの地産地消を行います。

本事業は民間の資金とノウハウを活用した民設民営方式であり、弊社がこれまで取り扱ってきた、ガスエンジンコージェネレーション及びガスエンジンヒートポンプのノウハウを活かすと共に、都市ガス事業を通じて培われた組織体制を活用し、株式会社神鋼環境ソリューション、ヤンマーエネルギーシステム株式会社と連携して、安心・安全・安定した事業運営を行います。

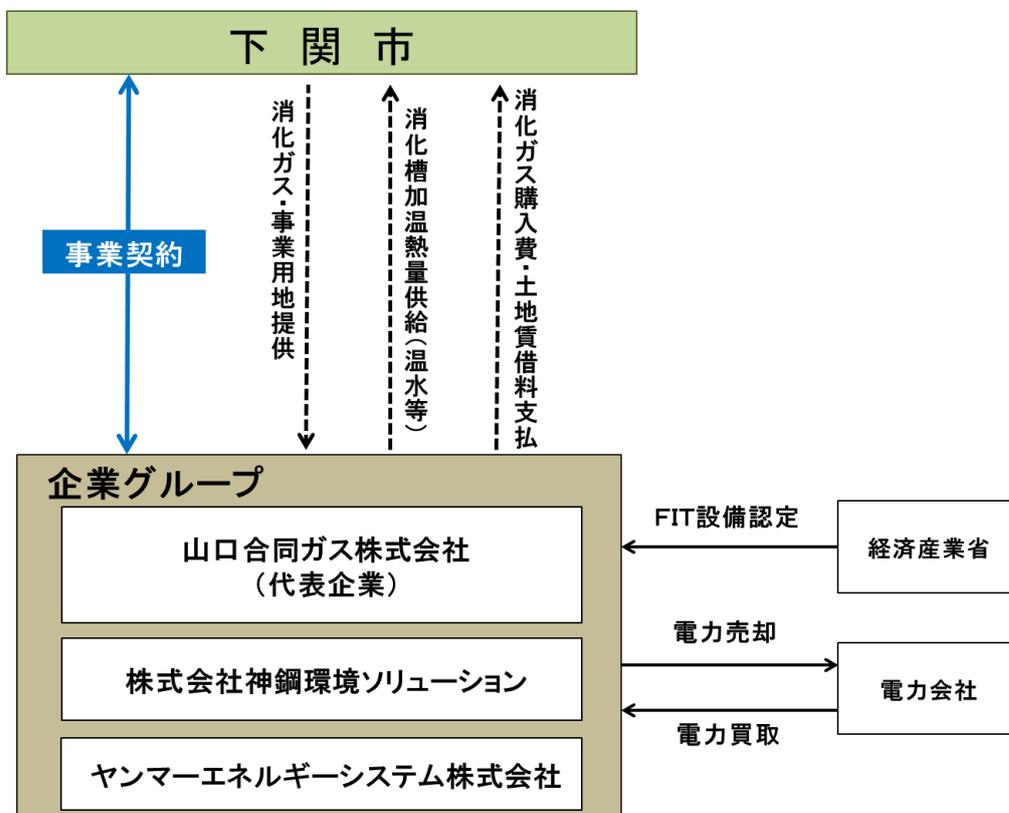
今後、FIT 制度による設備認定を取得し、電力事業者と接続契約を行った後、平成 28 年 3 月末までに、下関市と事業契約を締結する予定です。

【発電事業の内容】

- ① 事業名：下関市上下水道局山陰終末処理場消化ガス発電事業
- ② 事業方式：民設民営方式
- ③ 事業場所：下関市大字垢田字洞の上（山陰終末処理場内）
- ④ 施設概要：発電設備一式
発電容量 325kW（消化ガスエンジン 25kW×13 台）
- ⑤ 年間発電量（最大）：2,700,000kWh/年（一般家庭 800 世帯相当）
- ⑥ 発電事業期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 50 年 3 月 31 日（20 年間）

※発電事業開始日は計画段階のもので変更になる場合があります。

【事業スキーム】



【発電設備イメージ図】



【基本協定調印式の様子】



写真右側より

下関市上下水道事業管理者 三木 潤一

下関市長 中尾 友昭

山口合同ガス株式会社 代表取締役社長 河野 孝正

株式会社神鋼環境ソリューション 取締役常務執行役員 吉ヶ江 武男

ヤンマーエネルギーシステム株式会社 広島支店長 石井 満

以上